

響バイオマス発電所整備事業

環境影響評価方法書

平成 30 年 2 月

株式会社 MOT 総合研究所

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図及び2万5千分1地形図を複製したものである（承認番号 平28情複、第1245号）。

目 次

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1
第2章 事業の名称、目的及び内容	2-1
2.1 事業の名称	2-1
2.2 事業の目的	2-1
2.3 事業の種類	2-2
2.4 複数案の選定及び計画段階配慮書段階からの変更事項	2-2
2.5 事業の規模	2-3
2.6 事業実施区域	2-3
2.7 環境影響評価にあたって	2-6
2.8 事業計画の概要	2-7
2.8.1 事業概要	2-7
2.8.2 施設の稼働に関する計画	2-10
2.8.3 工事に関する計画	2-15
2.9 その他の環境に関する事項	2-18
第3章 事業実施区域及びその周辺の概況	3-1
3.1 自然的状況	3-3
3.1.1 大気環境の状況	3-3
3.1.2 水環境の状況	3-12
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3-27
3.1.4 地形及び地質の状況	3-29
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-34
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3-55
3.2 社会的状況	3-60
3.2.1 人口及び産業の状況	3-60
3.2.2 土地利用の状況	3-62
3.2.3 水域利用の状況	3-65
3.2.4 交通の状況	3-73
3.2.5 環境の保全の配慮が特に必要な施設の配置及び住宅の配置の状況	3-76
3.2.6 下水道の整備の状況	3-78
3.2.7 環境の保全を目的とした法令等による指定地域及び規制等の状況	3-80

第4章	計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4-1
4.1	計画段階配慮事項の選定方針	4-1
4.2	事業特性と地域特性の整理	4-1
4.2.1	事業特性の整理	4-1
4.2.2	主な地域特性	4-5
4.3	計画段階配慮事項の選定	4-7
4.4	調査、予測及び評価の手法及び選定理由	4-12
4.4.1	調査、予測及び評価の手法	4-12
4.4.2	手法選定の理由	4-12
4.5	大気質の調査、予測及び評価の結果	4-13
4.5.1	大気質の調査結果	4-13
4.5.2	大気質の予測結果	4-21
4.5.3	大気質の評価	4-47
4.6	総合評価	4-51
第5章	配慮書に対する意見の概要と意見についての事業者の見解	5-1
5.1	配慮書の公告及び縦覧	5-1
5.2	環境保全の見地から意見を有する者の意見の概要	5-3
5.3	配慮書に対する北九州市長の意見と事業者の見解	5-10
第6章	対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	6-1
6.1	環境影響評価の項目の選定	6-1
6.2	本事業影響と複合影響の予測対象項目について	6-7
6.3	調査、予測及び評価の手法	6-9
6.3.1	大気質	6-9
6.3.2	騒音	6-16
6.3.3	振動	6-23
6.3.4	水質	6-26
6.3.5	土壌	6-33
6.3.6	動物	6-34
6.3.7	植物	6-38
6.3.8	生態系	6-42
6.3.9	人と自然との触れ合いの活動の場	6-45
6.3.10	廃棄物等	6-47
6.3.11	温室効果ガス等	6-48
第7章	環境影響評価方法書を委託した事業者の名称、代表者の氏名 及び主たる事務所の所在地	7-1
巻末資料	大気質の複合影響予測に関する事項（発電出力変更に伴う再評価）	資-1